

環境にイイコト、
プラス。

エコ事業所
アピタ千代田橋店の環境活動

未来の子供達に美しい自然を残したい

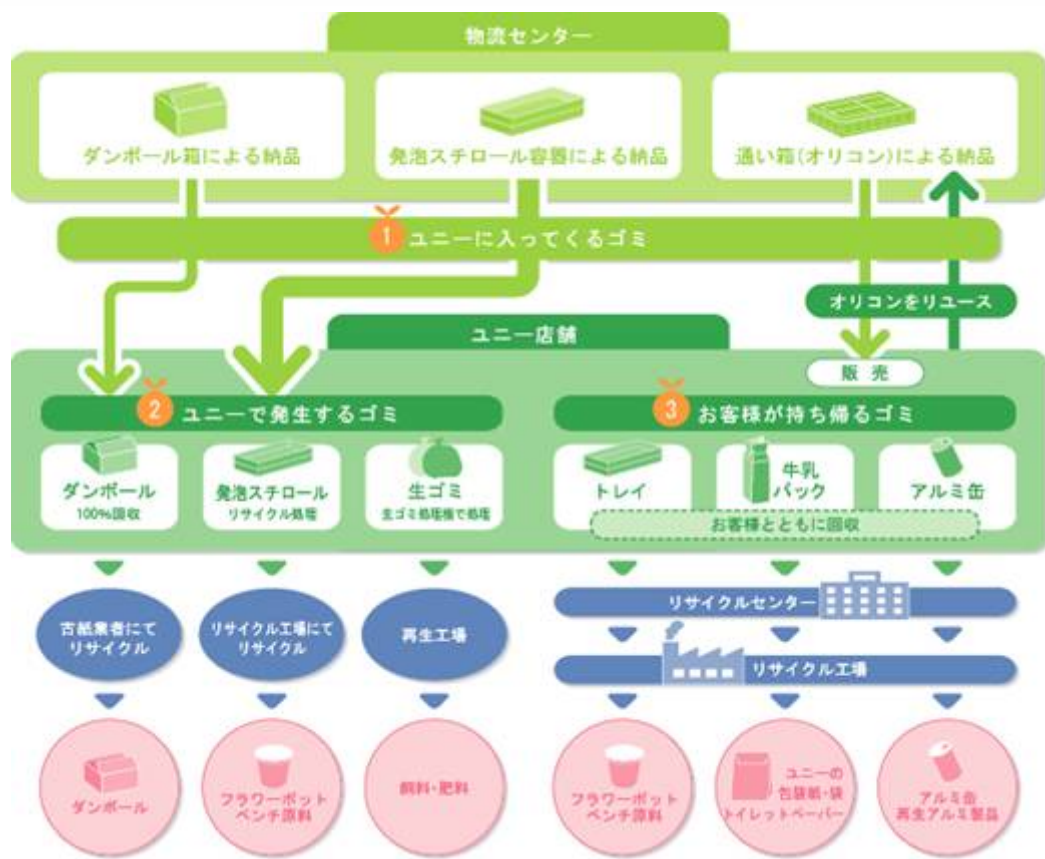


ユニー株式会社

2009年2月4日
ユニー株式会社
環境社会貢献部
松井 淳



■ 廃棄物の資源化



1 ユニーに入ってくるゴミ

商品搬入時に商品を入れてきたダンボール箱や発泡スチロールの容器を使い捨てから通い箱(オリコン)にすることによって、廃棄物の発生を抑制しています。

2 ユニーで発生するゴミ

店の中での販売活動や商品加工・サービスから発生する廃棄物をリサイクル資源にする取り組みをしています。

- 1.発泡スチロールの再資源化
- 2.食品廃棄物の再資源化
- 3.ダンボールは100%リサイクル

3 お客様が持ち帰るゴミ

牛乳パック(再生紙の原料)やアルミ缶(再生アルミの原料)、食品トレイ(再生プラスチックの原料)は、各店舗にリサイクルボックスを設置し、ゴミの再生利用をお客様と一緒に取り組んでいます。

■ 店舗における2007年度 年間廃棄物排出量

| 区分 | 種類 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | |
|---------------------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 可燃ゴミ | 焼却 ゴミ | 一般可ごみ | 11,944,417 | 11,363,301 | 11,278,177 |
| | | ビニール | 5,468,528 | 4,473,957 | 4,152,803 |
| | | 小計 | 17,412,945 | 15,837,258 | 15,430,980 |
| | 食品 ゴミ | 生ゴミ | 15,811,962 | 14,885,741 | 13,644,825 |
| | | 魚のアラ | 3,714,642 | 3,568,186 | 3,747,896 |
| | | てんかす | 899,429 | 988,113 | 995,900 |
| | | 食用廃油 | 1,322,161 | 1,262,589 | 1,216,312 |
| | | 小計 | 21,748,194 | 20,704,629 | 19,604,933 |
| 不燃物 | ビン | 611,612 | 795,980 | 749,557 | |
| | 缶 | 539,657 | 530,653 | 490,236 | |
| | 小計 | 1,151,269 | 1,326,633 | 1,239,793 | |
| 発泡スチロール | | 1,529,029 | 997,262 | 1,023,539 | |
| ダンボール および再生 紙 | ダンボール | 35,266,611 | 36,395,499 | 36,753,040 | |
| | 紙類(再生可) | 1,484,058 | 1,317,484 | 1,540,349 | |
| | 小計 | 36,750,669 | 37,712,983 | 38,293,389 | |
| その他 | プラスチック | 422,732 | 594,698 | 514,977 | |
| | ビニール(衣住系) | 1,151,269 | 850,875 | 887,923 | |
| | ペットボトル | 206,869 | 292,774 | 288,644 | |
| | 陶器、ガラス | 161,897 | 118,940 | 112,708 | |
| | 金属カス | 89,943 | 155,536 | 155,776 | |
| | その他 | 386,755 | 503,206 | 459,997 | |
| | 小計 | 2,419,465 | 2,516,029 | 2,420,025 | |
| 合計 | | 81,011,571 | 79,094,794 | 78,012,660 | |



■食品リサイクルループ

■地元のみなさんと一緒に環作りに取り組んでいます



■ 子供環境学習・収穫体験・食育

環境にイイコト、
プラス。

■ 消費者交流会の様子



お米についての勉強会



芋ほり体験



田植え体験



稲刈り体験



イチゴ収穫体験

① 容器包装をできるだけ使わない販売への取組み

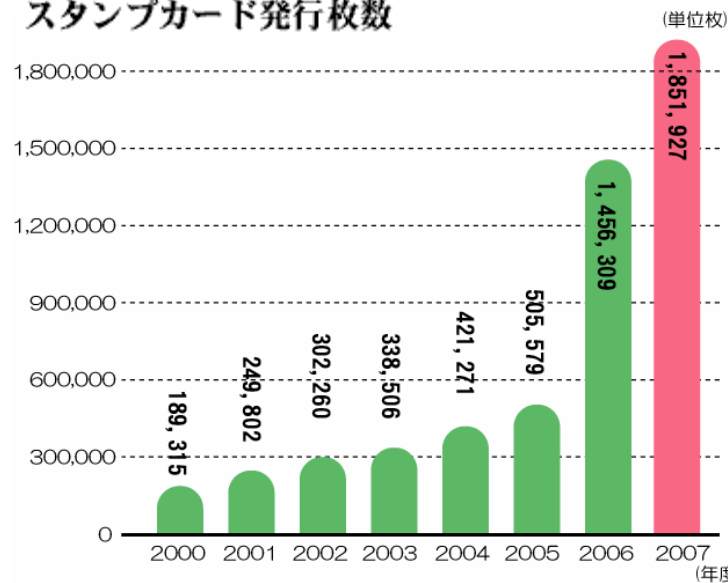
レジ袋のように、お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

ノーレジ袋キャンペーン

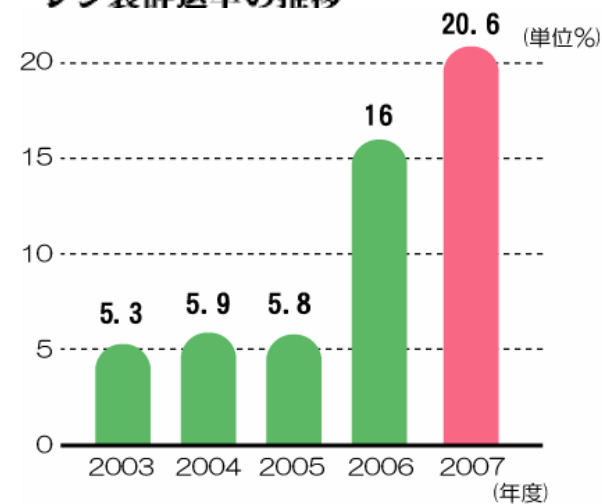
レジ袋使用量・重量の推移
(全サイズのレジ袋の重量)

| | | |
|--------|-------------------------------|--------|
| 2000年度 | 1枚当たり重量の軽量化を図るため 薄くて強い袋に改善 | 2,508t |
| 2001年度 | レジ袋各サイズの容量の見直しを検討 | 2,280t |
| 2002年度 | 新サイズに切り替え使用枚数削減 | 2,403t |
| 2003年度 | お客様に適正枚数配布の教育実施 | 2,329t |
| 2004年度 | 従業員全員にマイバッグ配布 | 2,242t |
| 2005年度 | 愛・地球博エコマネーに参加 | 2,195t |
| 2006年度 | ノーレジ袋キャンペーン開始 | 2,075t |
| 2007年度 | レジ袋有料化スタート | 1,818t |

スタンプカード発行枚数



ユニー全社の レジ袋辞退率の推移

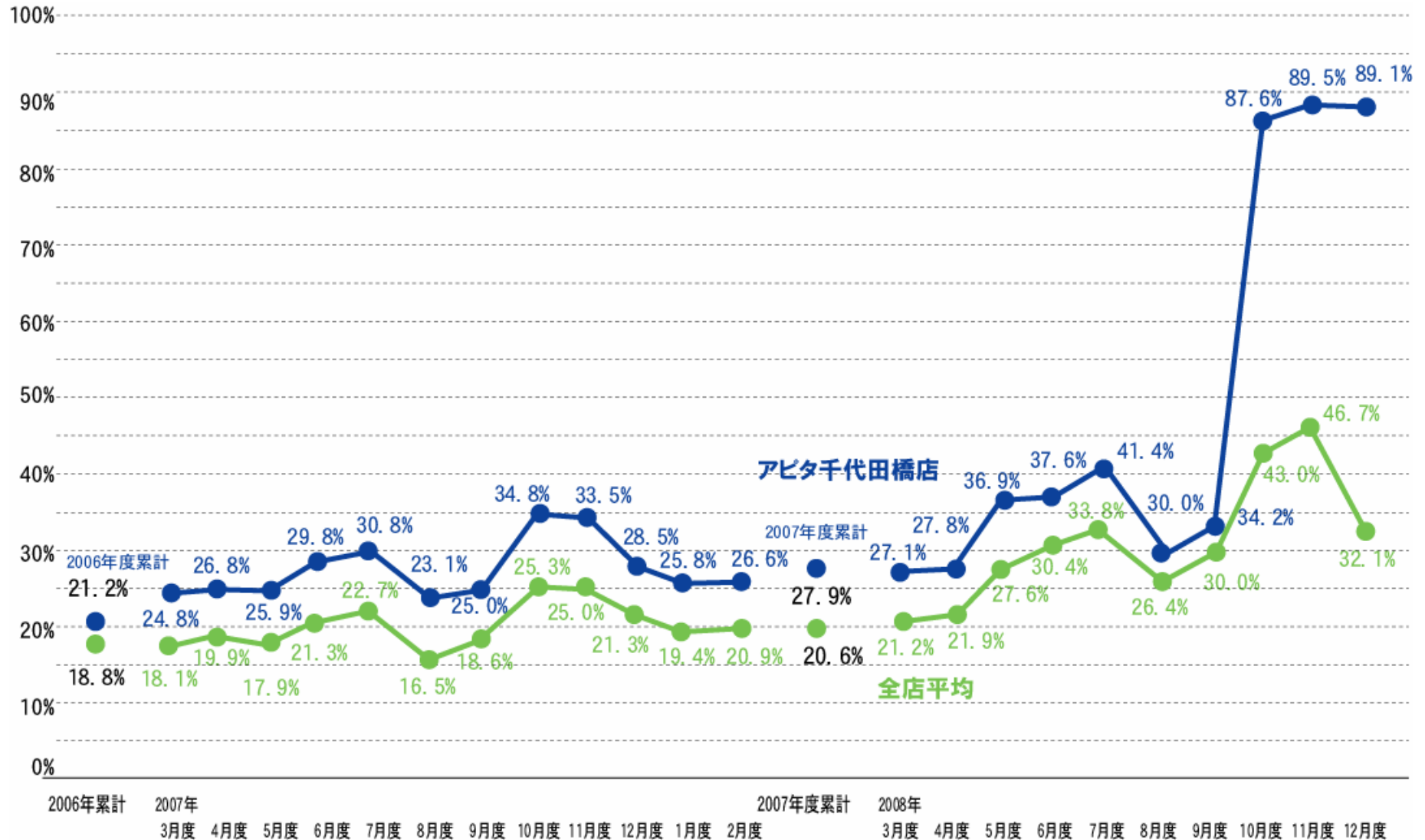


2008年10月アピタ千代田橋店でレジ袋無料配布中止を始めました

レジ袋有料化は、地域全体で取り組むことが成功につながります。

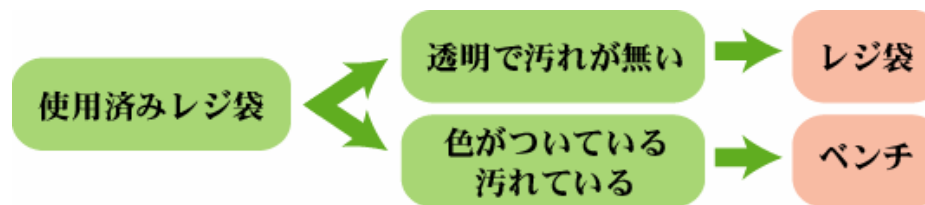


アピタ千代田橋店と全店平均のレジ袋辞退率推移



🍏 使用済みレジ袋のリサイクルループ

有料化は発生抑制 — レジ袋は「悪?・・・」機能性の高い便利な包装資材
何度も使って — 使用済みレジ袋を再生資源にリサイクル



レジ袋回収ボックス

③サスティナブルな原料を使った容器包装への取組み

限りある石油資源を使用せず、「繰り返し」栽培可能な植物資源を原料にする。

バイオマスプラスチック製容器の使用

卵パック・フルーツケースに使用（2006年から全国全店で導入）



バイオマスマーク

動植物を原料とした
プラスチック
使用後は水と二酸化炭素に
分解され、自然に還ります。



フルーツ用プラスチックケース



鶏卵用パック



バイオマスプラスチックケースは
レジにて回収

1

植物生まれの原料を
使うことで、石油など
大切な資源の節約に
つながります。

2

バイオマスプラスチッ
クは燃やしても、地球
上の二酸化炭素を増
やしません。

3

生ゴミと一緒にすてて
も土の中の微生物が水
と二酸化炭素に分解し、
形がのこりません。

4

回収した容器は、リサ
イクルされ新しい容
器の原料に生まれ変
わります。

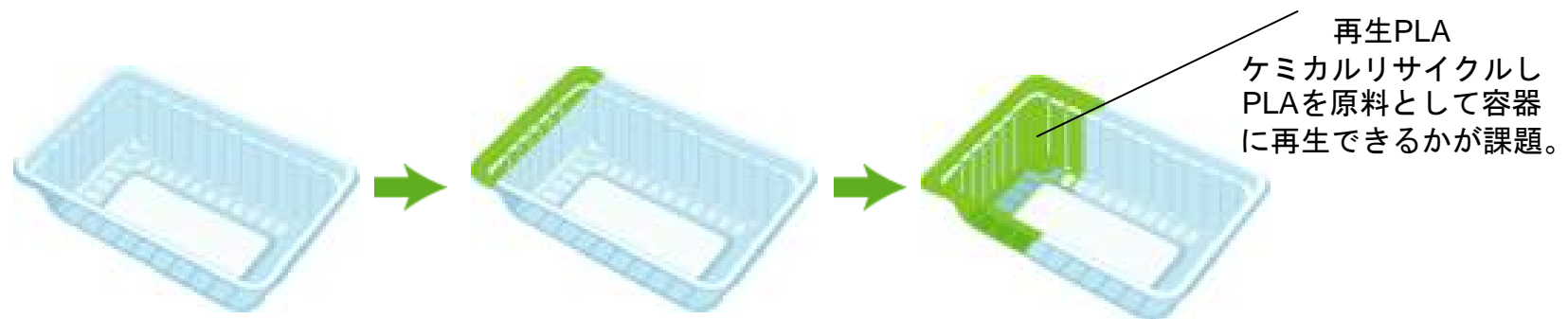
🍏 サスティナブルな原料を使った容器包装への取組み

使用済みバイオマスプラスチック製容器のリサイクル

種類の違うプラスチック容器が混入していても、加水分解で分離できる。



再生PLAが入った製品を作りたい。



ユニー株式会社は、「エコ・ファースト企業」として 環境省より業界初の認定をいただきました



「エコ・ファーストの約束」を交わす
鴨下環境大臣とユニー(株)前村社長(平成20年4月21日)

① 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。

② その他循環型社会の形成に向けた取組をお客様と一緒に積極的に推進します。

③ 地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。

— 「エコ・ファースト制度」とは —

環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に推進するために創設した制度です。

未来の子供達に美しい自然を残したい



私たちは低炭素社会実現のために、
お客様や関係する方たちと一緒に、努めていきます。